

January  
た よ

vol.10

皆様の暮らしに安心と活力をお届けする情報紙

# くりーんぱーく便り

株式会社門前クリーンパーク 輪島市門前町剣地口1番地 TEL. &amp; FAX.0768-45-1820

**謹んで新年のお慶びを申し上げます**

皆様におかれましては、健やかなる新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は関係各位より格別のご厚誼を賜り厚く御礼申し上げます。

私ども株式会社門前クリーンパークも、「管理型廃棄物最終処分場」の事業化のため発足以来、はや4回目の新年を迎えることとなりました。これもひとえに、地元の皆様方のご支援ご鞭撻の賜物と、心より感謝申し上げる次第です。

さて、昨年は、皆様ご承知のとおり日米両国で新政権が発足し、共に環境重視の政策を打ち出す中、環境に対する社会的な関心が、様々な分野でますます高まった年となりました。

そのような中、弊社におきましては、事業化に伴う「環境影響評価」で必要とされる四季の「現地調査」を実施致しました。一方で近隣地区の皆様にも、中間処理工場・処分場の見学会へご参加いただき、一層のご理解を賜りますよう活動してきましたところでございます。

本年も、引き続き調査を継続するとともに、「環境影響評価」に関する「準備書」の作成を行ってまいります。生活環境保全上必要不可欠であり、より安心・安全な処分場建設に向けて、大きな一步を進めていけるものと確信致しております。

私どもは、これまで通り誠心誠意の努力と情熱をもって、地域へ貢献する環境事業へ取り組んでいく所存であります。今後とも関係する皆様方のご理解を十分に賜った上で、地域共生型のモデル事業として実現してまいりたく存じます。

最後に、新しい年の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



株式会社門前クリーンパーク  
代表取締役社長

三本 守



**地域の皆さんとの交流を深めました!!**

**白米千枚田で  
実りの秋を実感しました!!**

昨年5月に白米千枚田の田植えはお伝えしましたが、無事に夏を越し、9月27日に稲刈りが行われました。

田植えをしたのは、大1枚、中2枚の3枚の田んぼでした。冷夏と日照不足で稻の作柄も心配されましたが、9月に入っての好天で稻穂も順調に育ち、たわわに実った穂が重そうに垂れています。前回も稲刈りをやったはずなのに…。初めは思うように刈った稻がまとまりませんでしたが、4~5束を藁で束ねて、クルクルと回転させて、端を押し込めば完成です。東京からのメンバーと、地元の応援も含めた15名で無事刈り取りました。足元が乾いていたおかげで作業しやすく、手付きが慣れたころ終了するのは昨年と同じでした。

刈り取られた田んぼを見渡せば、作業の達成感と、収穫の喜びを感じる事が出来ました。



地元の皆様と参加メンバー

三本社長も汗を流しました



# 「タケエイエコパークゴルフ大木戸」オープン!! (旧大木戸第1最終処分場) 最終処分場の跡地利用方法のモデルケースとして、今もっとも注目を集めています!

大木戸第1最終処分場(千葉県)が埋立て完了し、緑に囲まれたパークゴルフ場に生まれ変わりました!  
本州初!! 最終処分場跡地をパークゴルフ場として運営する新しい試みです。



オープニング セレモニー  
タケエイエコパークゴルフ大木戸  
(旧大木戸第1最終処分場)

## パークゴルフとは

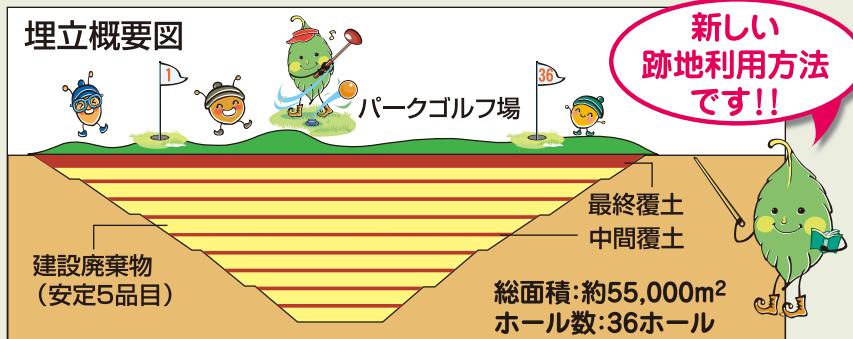
パークゴルフとは、昭和58年に北海道で考案されたゴルフ風のスポーツです。現在、プレー人口は約100万人(NPO国際パークゴルフ協会推定)にもなり、ルールはほぼゴルフと同じです。クラブ1本でプレーすることができ、コースは短く、空振りは何度でもOK! 低価格で、子供から高齢者までの三世代で一緒に楽しめる生涯スポーツです。



昨年9月18日、千葉県千葉市緑区大木戸町に全面天然芝のパークゴルフ場がグランドオープンいたしました。この地は(株)タケエイが運営しておりました「大木戸第1最終処分場(安定型)」の跡地であり、最終処分場跡地利用において、本州初のパークゴルフ場として生まれ変わった、今もっとも注目を集める新規事業です。

現在、日本国内における最終処分場跡地は、公園・森林が大部分を占めており、事業性・地域還元性のある有効利用がほとんどなされていないのが現状です。そこでタケエイでは、パークゴルフ場を計画・運営し、新しい跡地利用方法のモデルケースとして推進していくことにいたしました。

当社が計画しております事業においても、数十年後の跡地利用として、長期の事業及び雇用継続を見据え、今回のパークゴルフ事業の跡地利用例やノウハウを活かして、引き続き地域の皆様の健康促進や地域振興に貢献できる事業を展開してまいりたいと考えています。



## 大木戸物語



田中 啓治 様

### 建設設計画から埋立終了を迎えて

私の住むこの大木戸町に、最終処分場の建設設計画があると初めて聞いたのは、今から二十数年前のことでした。そんなもの作られたら、何を埋め立てられるか分かったもんじゃない、空気や水が汚染されて、人の住めない町になってしまふ、そう考えて、建設反対運動を始めました。こうした中、タケエイと私たちは、話し合いの席を設けることになり、その後、何度も何度も話し合いを重ねました。初めは、業者がいくらきれいな事を言っても、口先だけで、実際には何をやらかすのかわからない、信用できない、と思っていました。そんな私たちに、何度も何度も、くりかえしきりかえし熱心に事業計画を語る姿や、タケエイが当時運営していた旧成田最終処分場と、他の業者の運営している処分場を見学して歩いた結果『そんなに言うなら、やらせてみてもいいのでは』ということになりました。

昭和62年に最終処分場が完成しましたが、私たちの中には、実際のところ、まだ半信半疑の者もいました。さっさと埋めて、逃げられたらどうしよう…。しかし、そういう考えが誤りだったことに気付くのに、そんなに時間はかかりませんでした。きちんとした施設運営は当然のこと、地域住民への定期的な運営状況説明、地元行事への積極的な参加など、タケエイの姿勢は私たちの予想以上でした。近隣には他の業者が運営している処分場が多く見られますが、タケエイの処分場では不快な臭いもありません。ですから『これだけしつこく運営してくれるなら安心だ』と、今度は、私たちからタケエイに、遊休地となっていた土地の利用を提案しました。こうして第2処分場が平成12年に完成し、平成19年9月30日に開かれた臨時総会では、第2処分場の拡張が承認されました(現在準備中)。

そしてこの秋、平成18年に埋め立てが終了した第1処分場の跡地に、なんと緑の美しい、新しいレジャー施設が誕生し、週末には遠方からも大勢の人が遊びにきてくださる場へと生まれ変わったのです!

私は、タケエイの皆さんに、これからも、地元に根付いた事業運営を心掛けてくださいよう、切に願っています。



### 見学会開催報告

平成21年12月に行った見学会の報告をいたします。

去る12月8日、9日の二日間に、施設見学会を開催いたしました。当日は、志賀町西増穂地区振興会の皆様方にご参加いただき、「エコプロンティアかさま/管理型処分場」(茨城県)をはじめ、タケエイ運営の「成田最終処分場」(千葉県)、「タケエイエコパークゴルフ大木戸」(千葉県)、「川崎リサイクルセンター」(神奈川県)の4施設を見学していただきました。

### お問い合わせ

株式会社門前クリーンパーク  
〒927-2342 石川県輪島市門前町劍地口1番地  
**TEL.&FAX. 0768-45-1820**  
皆様のご意見・ご感想をお寄せください。

